

第3学年音楽科学習指導案

1 日 時 11月25日（水曜日） 第5時限

2 学 級 3年1組（22名）

3 題材名 音楽に込められた作曲者の思いを感じ取ろう
連作交響詩「我が祖国」から「ブルタバ」（スメタナ作曲）

4 学習目標

「ブルタバ」はなぜ人々を魅了しているのか理由を探ることを通して、曲に込められた作曲者の思いや曲の背景を理解して聴くことができる。

5 学習計画 総時数3時間

- (1) チェコの人々にとってのこの曲の意味を考え、チェコの歴史や作曲者について理解する。
- (2) 曲全体の構成を理解し、曲に表されている情景と曲想の関わりを理解する。
- (3) 曲想の変化を比較し、曲に込められた思いを感じ取って聴く。（本時）

6 本時の学習

(1) 主 眼

曲の背景や構造を理解し、作曲者の思いを感じ取って鑑賞することができる。

(2) 研究主題との関連

同じ音楽や音を聴いても、人によって受け止め方は様々である。そういった異なる価値観を伝えあい、共有していくことで、曲に込められた作曲者の思いに迫っていきたい。

(3) 学習の展開

学習内容及び学習活動	教師の手だてと評価(★)
<p>① 「ブルタバ」について学んだことを復習する。 チェコの歴史、作曲者、曲全体の構成、生徒の仮説について前時までの学習内容を簡単に復習する。</p>	<p>① 重要事項を黒板に掲示し、本時の学習の材料となるようにする。</p>
<p>めあて この曲に込められた作曲者の思いを感じ取って鑑賞しよう。</p>	
<p>② 「ブルタバ」の前半部分と後半部分を聴き比べる。 前半部分と後半部分を聴き比べ、その違いについて気付いたことを曲想と構造に分けてワークシートに記入する。</p> <p>③ グループで話し合う。</p>	<p>② 参考資料として鑑賞する部分のスコアを配付し、視覚的にも理解できるようにする。</p> <p>③ ホワイトボードを1班につき4枚配付し、曲想と構造に分けて記入させる。</p>
<p>予想される生徒の反応</p> <p><前半></p> <p>【曲想】 暗い、悲しい、落ち着いている</p> <p>【構造】 音程が低い、短調、楽器が少ない、音量が小さい</p> <p><後半></p> <p>【曲想】 明るい、にぎやか、派手</p> <p>【構造】 音程が高い、長調、楽器が多い、音量が大きい、アクセントがついている</p>	
<p>④ 前半部分と後半部分の違いを発表し、全体で共有する。</p>	<p>④ 電子黒板にスコアを提示し、必要に応じて実際に音を聴きながら確認する。</p>
<p>この曲に込められた作曲者の思いとはどんなもののでしょうか。</p>	
<p>⑤ 作曲者の思いについて考える。 ワークシートに記入する。</p>	<p>⑤ チェコの歴史や作曲者、④での意見をもとに考えるように促す。</p>
<p>予想される生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ チェコの悲しい歴史を乗り越えて未来へ向かって行ってほしいという思い。 ○ チェコの自然を誇らしく思い、自分の国を愛してほしいという思い。 ○ 国民としてのアイデンティティに誇りをもってほしいという思い。 	
<p>⑥ 出てきた意見をまとめる。 ブルタバがなぜ人々に愛されているのか、その理由と作曲者の思いを結びつける。</p> <p>⑦ 振り返りを記入する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>★曲想と音楽の構造との関わりを理解し、作曲者の思いがどのように表現されているか言葉で表現することができたか。(鑑賞の能力：ワークシート，記述)</p> </div> <p>⑥ 作曲者の思いや曲の背景が聴く人々に伝わることで人々から長く愛される音楽となることや、言語を用いずに思いを伝える音楽の特性と結びつけて説明する。</p> <p>⑦ 3時間の授業を踏まえて記入させる。</p>